

## 令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	19	沖縄離島体験・デジタル交流促進事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	4-(4)-ア-①			
				離島の多様な魅力の発信			
担当部署名	企画部 地域・離島課	事業実施 (予定)年度	H24~R13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-9-(2)		
事業内容	将来を担う児童が、離島の重要性、特殊性及び魅力に対する認識を深めると共に、各離島の受入体制を強化することを目的に、児童の離島派遣及びオンラインによる離島体験等を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額 【単位:千円】	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度
		(b) 予算現額	220,000		176,997		170,396
		(c) 増減額(b-a)	212,267		176,997		170,396
		(d) 前年度繰越額	▲ 7,733	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	0	0	0	0	0
		B. 執行済額	212,267	0	176,997	0	170,396
		うち交付金充当額	204,405		176,543		169,897
		C. 次年度繰越額	163,524		141,235		135,917
		執行率(%) (B/A)	0		0	0	0
		執行率(%) (B/A)	96.3%		99.7%		99.7%
予算の状況の説明	・執行率は99.7%であり、概ね計画的に執行できた。						
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R6活動目標(指標)		進捗状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	体験・交流を目的に本島及び離島の児童を別の離島へ派遣、離島の児童を本島に派遣、又はオンライン体験交流する児童数		目標	1,619	2,866	2,000	2,450
			実績	619	2,176	2,567	2,256
進捗状況説明	令和6年度は、台風の影響により派遣が中止となった学校があったものの、概ね計画通りに派遣を実施することができ、令和6年度の目標を90%以上達成した。						
成果目標 (指標) 及び達成状況	R6成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (〇〇年度)
	離島に派遣した沖縄本島の児童において、自身が居住する地域と離島の違いに対する理解が深まったか(85%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートにより検証する。		目標	85.0%	85.0%	85.0%	
			実績	90.9%	95.4%	87.7%	
	達成状況説明	体験交流した沖縄本島の児童に対しアンケートを実施した結果、自身が居住する地域と離島の違いに対する理解が深まった児童は87.7%であり、目標を達成した。(体験交流前は、31.4%)					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>①コーディネーターや受入民家の育成が必要であるが、特に小規模離島においては慢性的な人材不足等の課題があり、育成の取り組みが困難な状況にある。</p> <p>②新型コロナウイルスの影響により、小中規模離島において民泊の中止や廃止等があったため、受入体制の再構築や体制強化が必要となっている。</p> <p>③多様化する観光ニーズや新たな学習指導要領に示された「体験活動の重視」に対応する必要がある。</p>	<p>①持続的な受入ができるようコーディネーターの担い手となる人材の発掘が必要である。</p> <p>②受入体制の再構築や体制強化に向けた取組として、民泊による受入ができる民家の掘り起こしが必要である。</p> <p>③島の資源を活用した体験プログラム開発や既存プログラムにおける学習効果を高める工夫が必要である。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>①地元の核となるコーディネーター育成のため異なる取組を実施している離島の視察や研修等を引き続き実施し、小規模離島においては、コーディネーターの担い手となる人材の発掘を行う。</p> <p>②制度の周知や手続きに係る支援により、民泊による受入ができる民家の掘り起こしを行う。</p> <p>③受入離島の体験プログラムの内容等を検証し、引き続き改善を図っていく。</p>		

資金の流れ						
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
169,897	169,897	135,917	33,980	0	0	0

沖縄県

交付対象事業費

169,897千円

→

委託料

169,722千円

→

(株)カティベイト・(株)りゅうせきフロントライン共同企業体

169,722千円

〔 旅費等 〕

〔 受入体制の整備、派遣に係る全工程の企画及び実施、危機管理体制の構築、事業評価会議の開催等 〕

- ・株式会社カティベイト
- ・株式会社りゅうせきフロントライン

資金の流し、費用の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型企画提案競争により、提案内容・実績・知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○令和6年度は、計画通りに派遣を実施し、予算の規模は事業内容に見合った適正な規模であると考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・用途については、事業完了検査を実施し、適正である事を確認した。
	○	費用・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

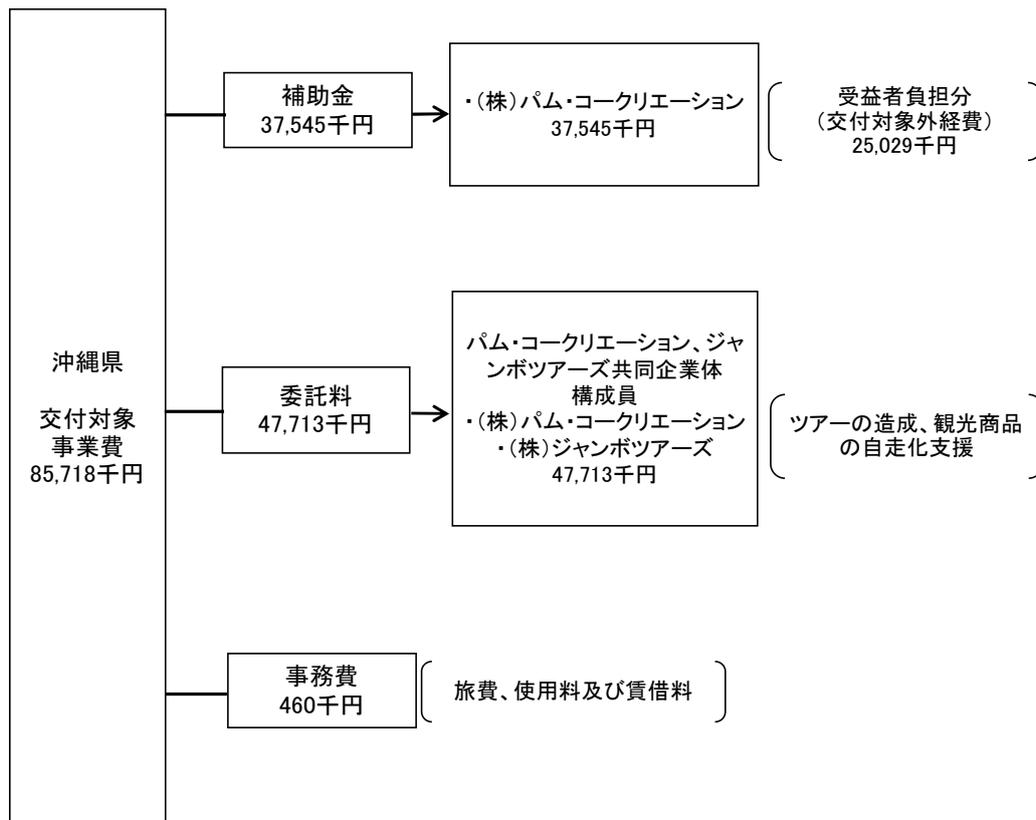
## 令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	21	離島ブランディング(島あっちい・島まーる推進)事業	新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所(第4章)	4-(4)-ア-①				
担当部課名	企画部 地域・離島課	事業実施(予定)年度	H28~R8 年度	離島の多様な魅力の発信				
事業内容	離島地域における交流人口の増大及び関係人口の創出を目的に、離島旅行商品の県外への販路拡大を図るとともに、県内外からの小規模離島地域に対する理解促進と島の活性化を図るため、離島観光産業の発展を支える人材の育成及び受入体制の強化を図る。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )							
予算額・執行額 【単位:千円】		R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	145,000		128,000		93,089	
		(b) 予算現額	107,206		128,000		91,624	
		(c) 増減額(b-a)	▲ 37,794	0	0	0	▲ 1,465	
		(d) 前年度繰越額						
		A. 計(b+d)	107,206	0	128,000	0	91,624	
	B. 執行済額		101,477		118,827		85,718	
	うち交付金充当額		81,182		95,062		68,574	
	C. 次年度繰越額				0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		94.7%		92.8%		93.6%	
予算の状況の説明		執行率は93.6%であり、主に委託料や補助金の執行残が発生したことによるものである。						
活動目標(指標)及び進捗状況	R6活動目標(指標)		進捗状況					
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
	支援する事業者数		目標	—	190者	200者	180者	
		実績	—	155者	240者	259者		
進捗状況説明		259事業者に対し、ツアー造成の伴走支援や先進地との意見交換等の研修を実施し、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び達成状況	R6成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(〇〇年度)	
	県外向けツアー派遣人数(プログラムに参加した離島ごとにカウント)		目標	—	2,000人	2,000人	—	—
			実績	—	716人	1,104人	—	—
	県民向けボラケーションツアー派遣人数		目標	—	150人	300人	—	—
			実績	—	137人	194人	—	—
	本事業の取り組みによりWeb等に掲載される自走化商品		目標	—	—	—	180件	—
			実績	—	—	—	209件	—
	ボラケーションツアーの造成数		目標	—	—	—	30件	—
			実績	—	—	—	49件	—
	達成状況説明		<p>○本事業の取り組みによりWeb等に掲載される自走化商品について、目標180件に対し、実績209件と目標を達成した。</p> <p>○ボラケーションツアーの造成数について、目標30件に対し、実績49件と目標を達成した。</p>					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本事業の取組により観光離島旅行商品の県外への販路拡大が図られた一方で、離島の人口減少が著しく、人手不足等の課題があることから、地域を支える担い手の確保に取り組む必要がある。	多くの離島が直面している人口減少や高齢化に伴う地域づくりの担い手不足等の課題を見据え、地域に多様な形で関わる「関係人口」の創出に取り組む必要がある。
<b>今後の取り組み方針</b>		
離島地域の現状や課題等を学び・体験・交流するモニターツアーを実施し、再訪意欲の向上や地域に多様な形で関わる「関係人口」の創出・拡大に取り組む。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
110,747	85,718	68,574	17,144	0	0	25,029



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の用途の点検・評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、公募型プロポーザルにより実績・実施体制・効果的な実施方法であるか等を総合的に勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○実施事業費の4割を受益者において負担しており、事業内容から勘案しても妥当であると考え。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものか等について、額の確定時における支出等の関連書類により、適正である事を確認した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

## 令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	23	離島デジタル広報・販売スキル向上事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	4-(4)-ア-②			
				離島訪問の促進			
担当部署名	企画部 地域・離島課	事業実施 (予定)年度	R4~R6 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-9-(2)		
事業内容	離島事業者の情報発信力を強化することを目的に、デジタル媒体を活用した情報発信や販売を促進するなど、デジタルマーケティングの導入による販路拡大を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額 【単位:千円】	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度
		(b) 予算現額	60,000	0	50,000	0	40,398
		(c) 増減額(b-a)	60,000	0	50,000	0	40,398
		(d) 前年度繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	0	0	0	0	0
	B. 執行済額		58,418	0	49,600	0	40,195
	うち交付金充当額		46,734	0	39,680	0	32,156
	C. 次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		97.4%		99.2%		99.5%
	予算の状況の説明		執行率は99.5%であり、概ね計画的に執行できた。				
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R6活動目標(指標)		進捗状況				
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	参画事業者数		目標	—	120者	130者	140者
			実績	—	136者	133者	142者
進捗 状 況 説 明	・事業者に対する個別訪問による事業説明や現地説明会の実施等により、活動目標を達成した。						
成果目標 (指標) 及び達成状況	R6成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (〇〇年度)
	本事業の取り組みによりWebやSNS等に商品掲載できた事業者数		目標	—	70%	70%	70%
			実績	—	83%	81%	75%
	達 成 状 況 説 明	・本事業の取り組みによりWebやSNS等に商品掲載できた事業者数は、OTAサイト及びECサイトに係る商談会の実施その他のWebやSNS等への商品掲載に向けた支援を実施したこと等により、目標値70%(99者/142者)に対し実績値75%(107者/142者)となり、目標値を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	離島事業者の販路拡大等に対する意識醸成、離島特産品等の販路拡大を図るため、デジタル媒体を活用したマーケティング等、マーケティングに関する基礎知識を学ぶ機会を創出し続ける必要がある。	離島事業者に対し、販売戦略構築等、外部専門家等による講座等を活用した支援を行い、離島特産品等の販路拡大の促進に取り組む。
<b>今後の取り組み方針</b>		
販路拡大に取り組む事業者の創出を目指し、離島事業者に対し、販売戦略構築等、外部専門家等による講座等を活用した支援を引き続き実施しつつ、販路拡大に取り組む事業者に対するハンズオン支援等に取り組む。		

<b>資金の流れ</b> (資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)						
総事業費	交付対象事業費	うち交付金 充当額	うち県 負担金	うち市町村 負担金	その他	交付対象外 経費
40,195	40,195	32,156	8,039	0	0	0
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 20px;"> <p>沖縄県</p> <p>交付対象 事業費 40,195千円</p> </div> <div style="margin-right: 20px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 20px;"> <p>委託料 40,068千円</p> </div> <div style="margin-right: 20px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 20px;"> <p>離島デジタル広報・販売スキル向上事 業共同企業体 構成員 ・(株)みらいおきなわ ・沖縄ツーリスト(株) 40,068千円</p> </div> <div style="margin-right: 20px;">(</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 20px;"> <p>ECサイト等活用支援業務 追跡調査、効果検証業務</p> </div> <div style="margin-right: 20px;">)</div> <div style="margin-right: 20px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 20px;"> <p>事務費 127千円</p> </div> <div style="margin-right: 20px;">(</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 20px;"> <p>旅費、使用料及び賃借料</p> </div> <div style="margin-right: 20px;">)</div> </div>						
資金の 使途の 流れの 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明			
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、企画提案プロポーザルを行い、提案内容が最も優れた事業者を選定したため、妥当であったと考える。			
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。				
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、事業報告書等を検査し、適正である事を確認した。			
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				

## 令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	22	離島ICT利活用人材等高度化事業	新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所（第4章）	4-(4)-イ-①			
担当部課名	企画部 地域・離島課	事業実施（予定）年度	R1～R6 年度	離島・過疎地域におけるテレワーク、ワーケーション等の推進 Ⅲ-9-(2)			
事業内容	離島住民を個人事業主型テレワーカーとして育成するとともに、テレワーカーの高付加価値化を目指し、各種育成や業務仲介・就業支援等を行う民間事業者へ補助を行う事により、離島における収益力強化を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度（    年度）						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（    ）						
予算額・執行額 【単位：千円】		R4年度	R4年度（繰越）	R5年度	R5年度（繰越）	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	26,852		22,694		18,341
		(b) 予算現額	26,852		22,694		18,341
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額					
		A. 計 (b+d)	26,852	0	22,694	0	18,341
	B. 執行済額		26,215		21,986		17,700
	うち交付金充当額		20,972		17,589		14,160
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率（%）(B/A)		97.6%		96.9%		96.5%
予算の状況の説明		ICT利活用により地域課題を克服し、プラットフォーム高付加価値化を図るため、令和4年度から新規事業（令和1～3年度で実施した離島ICT利活用促進事業の後継事業）として、テレワーカー等の育成や高収入に要する経費として補助金等を計上した。執行率は96.5%であり、概ね計画的に執行できた。					
活動目標（指標）及び進捗状況	R6活動目標（指標）		進捗状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	クライアント向け説明会（個別含む）	目標	—	50回	50回	50回	
		実績	—	56回	65回	62回	
	テレワーカー等向け説明会（個別含む）	目標	—	30回	30回	30回	
		実績	—	32回	70回	50回	
	高度化人材の育成	目標	—	50人	50人	50人	
実績		—	51人	57人	50人		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クライアント向け説明会を62回実施し、目標を達成した。</li> <li>・テレワーカー等向け説明会を50回実施し、目標を達成した。</li> <li>・高度化人材を50人育成し、目標を達成した。</li> </ul>						
成果目標（指標）及び達成状況	R6成果目標（指標）		基準値（〇〇年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（〇〇年度）
	離島のクラウドソーシング登録者（累計）	目標	—	1,000人	800人	—	—
		実績	—	670人	797人	—	—
	高度化人材の業務件数	目標	—	75件/年	150件/年	—	—
		実績	—	40件/年	81件/年	—	—
	テレワーカー平均報酬額（月収）	目標	—	—	—	26,000円	—
		実績	—	—	—	27,317円	—
	高度化人材による業務の売上高	目標	—	—	—	5,500千円	—
		実績	—	—	—	6,900千円	—
	達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>①テレワーカー平均報酬額については、クライアントへの営業やテレワーカーへの育成支援等により、目標を達成した。</li> <li>②高度化人材による業務の売上高については、テレワーカーの高度化支援等により、目標を達成した。</li> </ul>					

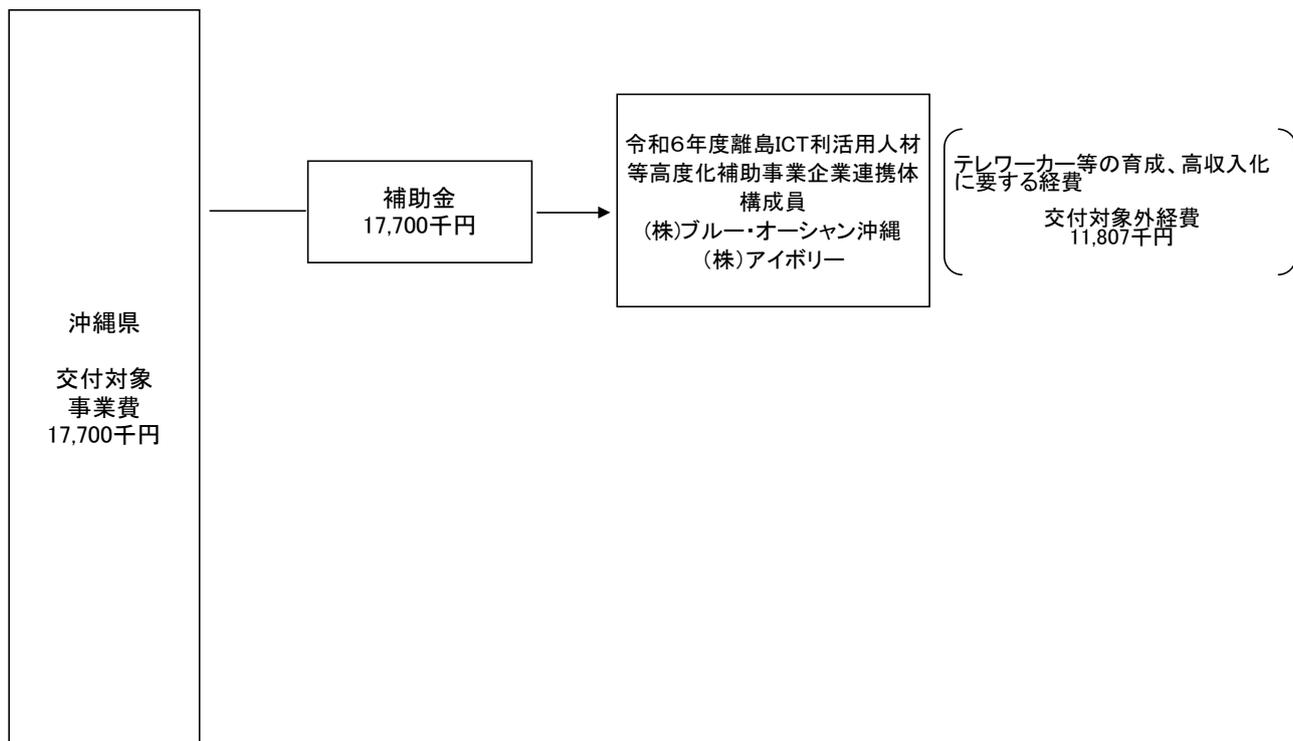
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①テレワーカーが高単価な案件に従事可能となる環境の整備に取り組む必要がある。 ②テレワーカーへの支援に関し、離島市町村との連携を強化する必要がある。	①これまで取り組んできた高度化育成に加えて、セキュリティの高いテレワーク拠点の整備による更なる高付加価値化の取組を支援する。 ②テレワーカーへの支援に関し、離島市町村との連携に取り組む。

**今後の取り組み方針**

- ①セキュリティの高いテレワーク拠点の整備によるテレワーカーの高付加価値化の取組を支援する。
- ②テレワーク拠点の整備支援にあたっては、設置する離島の市町村とも連携しながら取り組む。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
29,507	17,700	14,160	3,540	0	0	11,807



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の用途の点検・評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助事業者は、離島ICT利活用人材等高度化補助事業検証委員会において補助事業者の継続審査を行い、提案の内容等を勘案した上で選定しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○補助事業の受益者負担を4/10としている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であったと考えている。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	